

1. 本日の状況 会員数 36名 出席28名 欠席8名
2. 前回確定率 会員数 36名 出席29名 欠席7名
他クラブ出席 4名 出席合計 33名 91.67%
3. 他クラブ状況 函館95.19% 函館東88.16%

△ — △

※ 会員卓話 「米の話」 飯田伸生君

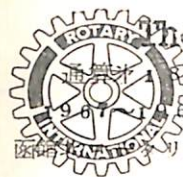
産米全国一の玉座を確保し、史上最大の85万トンを取獲して、「伸び行く農村」を謳歌した昭和36年度の本道米作は、翌37年以降の打続く冷害に依り不作に喘ぎましたが、本年は稔りの秋の言葉の如く稀にみる大農作で同慶の至りであります。生産見込額100万トン石数にして670万石、全国生産高を1386万トンと見込んで、その7%に当ります。本道稲作の起源は遙か徳川5代将軍綱吉の代に遡り、松前藩が蝦夷地を統轄した今より270年前、現在の大野町で端を発したと言われ、内地式稲作の模倣は失敗の連続とも言ふべき草創期時代が続いた様です。明治2年開拓使が置かれて以来、黒田開拓次官を中心として、「米作否定論」が主流を占めて居りましたが、明治25年米作中心の小農主義の主流、東京駒場農学校出身の酒匂部長が就任以後は、従来の欧米式大農主義を一擲して農業政策は米作肯定論となり、現在の状態となつた次で、開道百年米作の歴史も容易ならざるものであつたと想像されます。

生産高は 明治19年 3万石 大正9年 119万石 昭35年 500万石
33年 12万石 昭和8年 300万石

斯様な生産高の上昇は、品種改良、イモチ病総合防除運動、冷害克服運動に依つて稲作の安全確収化の努力と、良質多収耐病性品種の育成、施肥量の増加等の諸条件と相和して反収増加して今日に至つたのであります。

然しながら、農作を無条件に喜ぶ事は出来ません。本年度取獲100万トンオーバーする取獲のうち、政府買上米は90万トン、これは道内配給量45万トンの2倍に当り、道内消費を充して尙十分であります。問題は「味」の問題があり、東北六県に移入米を加算すれば、需要と供給に於いてアンバランスを生ずる事で、町村知事が「道の開発について」の発言の中で、道内米作付面積を増やすことは問題があり、酪農を含くめて道の農業政策は手放しの開発奨励は出来ないと述べて居ります。

今後の北海道稲作経営は経済の高度な成長に充分対決出来るよう、条件を整える事が大切であり、その目標はとりあえず投下した資本や労働の報酬が他産業並みに保証されると同時に、経営としての収益が保証され、かつ豊富な米を供給し得る態勢を確立する即ち①反収を高める②規模を拡大し、機械力の注入が肝要な事でありませぬ。



9号
1967-11-8
函館北
りクラブ

第173回例会

例会場 函館拓銀ビル
例会日 毎週水曜日
12.30~13.30

本日のプログラム
会員卓話 「ビールと心臓」 深瀬鴻一郎君

- ※ 司会 俣野会長 ※ 斉唱 我等の生業
- ※ ゲスト 星出隆臣氏(海上自衛隊函館基地隊司令一等海佐)
- ※ ビジター 安藤静二君(多治見西、陶器) 岡田小治君(士別、酒)
菅谷敬三君外10名(函館) 柳沢登君外9名(函館東)

※ 会長挨拶
森会員が真面目な入院生活の結果、早く退院出来て本日の例会に出席されました。心よりおよろこび申し上げます。来る1968年メキシコ年次大会の旅行案内(フジ海外旅行社)が送附されて来て居りますので回覧致します。

※ 飯田社会奉仕委員長
函館クラブ大坂谷社会奉仕委員長より提案があり老人養護施設に対し、不要になつた電気製品を寄贈する件は3クラブ協同で奉仕する事になりましたので御協力願います。

- ※ ニコニコボックス
1、杉本敏雄会員がゴルフ会(ツバメ会)で優勝されました。
2、森会員の御全快おめでとう。

- ※ 出席報告
1、本日の状況 会員数 36名 出席32名 欠席4名
2、前回確定率 会員数 36名 出席28名 欠席8名
他クラブ出席5名 出席合計33名 91.67%
3、他クラブ状況 函館94.23% 函館東 96.05%
4、10月出席率
函館 94.23%
函館東 91.08%
函館北 86.81%

◎深まりゆく秋に比例して当クラブの出席率の低下が気になります。
※ 卓話 「海上自衛隊の現状」 星出陸臣氏
略歴紹介 昭和14年7月海兵卒、終戦迄空母海軍、巡洋艦利根その他に

乗組み、昭和28年海上自衛隊に入り海上幕僚部、術科学校教育次長を経て本職に至る

1、海上自衛隊の使命はおそろしい潜水艦やオ2次大戦時に敷設された機雷を取りのぞき我々の生活を支えている物資を輸送する船舶の安全につとめる事にあります。

2、極東における海空軍の現状(40年末現在)

	海軍	空軍
アメリカ(極東)	50万トン	1000機
国府	13万トン	600機
韓国	6万トン	320機
ソ連(極東)	60万トン	2000機
中・共	20万トン	2300機
北鮮	1.5万トン	500機
日本	15万トン	229機

3、教育、訓練

各種の学校、教育専門の部隊があり、それぞれ専門の知識や技術を教育しています。幹部候補生学校(江田島)を卒業した新任の3尉に長期間の海上勤務に慣れさせるため、毎年遠洋航海を行なつて居り、隊員の外国での見聞を広めると共に、国際親善にも大きな役割を果たしています。

「1968年の年次大会案内状をながめながら」

(ロータリーの友9月号抜粋)

海外旅行10の教訓 京都 西村大治郎

- 1、事前準備は出来る限り周到に
- 2、ホテルだけは快適であること
- 3、添乗員の資質をチェックせよ
- 4、写真は計画的にとること
- 5、買物の苦勞は沢山
- 6、忘れものは遠慮なく届けるにしかず
- 7、荷物はなるべく少く
- 8、両替に頭を使え
- 9、病気だけは絶対にせぬ様
- 10、同行者に学ぶ



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

90号

1968-11-15

第174回例会

例会場 函館拓銀ビル

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

ロータリークラブ

司会 俣野会長 斉唱 手についで

ビジター 氏家四郎君(大船渡 漁業)

浜下改三君外12名(函館) 管 泉君外7名(函館東)

会長挨拶

- 1、岩塚会員がハワイより帰国しホノルルR、Cとバナナを交換して参りましたので回覧致します。
- 2、国際ロータリーオ58回年次大会参加記念誌が配布されてきましたので、御希望者は申し込みください。

幹事報告

- 1、11月23日(木)は休会となりますので、函館R、Cでメーキャップの方は御注意ください。
- 2、次の例会日は軽食日となります。
- 3、インターアクト大会に青柳会員が出席致します。

ニコニコボックス

○御結婚記念 おめでと御座居ます。

船矢会員(20年) 藤野会員(43年) 成田会員(20年)

○入会記念 二宮会員

出席報告

- 1、本日の状況 会員数 36名 出席28名 欠席8名
- 2、前回確定率 97.22%
- 3、他クラブ状況 函館94.23% 函館東94.67%

△ △

会員卓話 「ビールと心臓」 深瀬会員

我々人間は外界から水分、空気、光を吸収し、内部より栄養物を取つて血液を作り生命を保つて居り、その重大な役目をするのが心臓であります。よつて心臓を強くする事が健康で最も大切な事です。日本は脳の血管の病気が多く、アメリカでは冠動脈の病気が多いのですが、最近日本でも冠動脈の病気が増加して居ります。

冠動脈というのは、心臓を養う血管のことで、ちようど冠(かんむり)の様に、心臓の外側をぐるりと、とりまいて居る動脈です。この動脈が硬化すると